

我ら 50 期 ここにあり

修学旅行に行かせて頂けることは有難いことです。

3年生の4月になっても始まらない学校、クラスを2つに分けての分散登校、ソーシャルディスタンスを保った机1つ飛ばしの教室、体育祭の中止、文化活動発表会の縮小と楽しみにしていた行事を自粛しようという状況の中、「修学旅行は行けるのか?」と思った人はたくさんいたと思います。みなさんが臨時学校休業でお休みになっている間に、学校では様々な分掌で会議を重ねていました。そんな会議や職員室の中で、“合言葉”のようにささやかれていたのは、「3年生の修学旅行だけは何としても行かせてあげよう」という“愛のある言葉”でした。当初の予定であった6/8は、分散登校をして1週間が経ったときでした。実はその時には8/31出発での変更を計画していました。その雲行きも難しそうだったので、さらに10/10出発に変更して動き出しました。大阪府の自治体で修学旅行の中止や一泊や日帰りに縮小して実施するというニュースを耳にして、どうしても行かせてあげたいという気持ちから、10/21出発の3回目の変更を舵を切りました。再三の日程変更による活動内容の変更は、想像以上に計画や準備、下見などの負担が大きく、色々な人の協力や助けのお陰でなんとか実施にこぎつけたという感じでした。早朝から新大阪に集まってくれたみんなを見ては、新幹線にスムーズに乗り込んだみんなを見ては感動するといった具合に、みんなと一緒に行動できることの喜びをかみしめていました。広島駅で班ごとに解散し、夕方にホテルに満足気に帰って来てくれたみんなに心から「お帰りなさい」と言って、お風呂に入ってすっきりしたみんな、美味しいご飯に舌鼓を打つみんな、部屋に戻ってはしゃぐみんな、スヤスヤ寝息を立てて眠るみんな、朝布団から起き上がって眠そうに目をこするみんなを見て、「ああこれを幸せと言うんだな」と感じました。色々な取り組みも楽しかったんですけど、何気ない日常の部分を共に過ごしたことが、本当に幸せでした。体育館にみんなが無事に帰って来て、保護者の皆さんが後ろにお迎えに来ておられて、無事にお家にお返しできると思ってみんなの顔を見渡したとき、心の底からホッとしました。



I HAVE A DREAM

今津中学校で過ごしたことを振り返ったとき、コロナ禍での色々なことは外せない出来事になるでしょう。その時、何をしていたかと思い起こしたとき、私たちはコロナに負けずに修学旅行に行かせてもらったという素晴らしい思い出を胸に抱くことができるでしょう。第二次世界大戦で多くのいのちが奪われた地で感性を研ぎ澄まし、世界を巻き込むコロナとの闘いに、正面から向き合って共生する偉大さを身に付けてくれるでしょう。そんな大切な時間を持てるのも、保護者の方々が学校を信頼し子どもたちのことを思って預けてくださったからだ感謝しています。この大阪市立今津中学校 50 年の節目の年に巡り合った縁を大切に、この3年間で得たものを最大限に生かし、それぞれの夢を叶えられる原動力になるきっかけとなる「修学旅行」になるのではないかと考えています。今の自分と未来の自分をつなぐ架け橋となる「修学旅行」にできるようにこれからも精進していきたいと思っています。これからもよろしくお願いします。



修学旅行から帰ってきた瞬間

修学旅行から帰ってきた休日に部活でグラウンドにいたら、「先生〜!」といくつかの部活にきていた50期生何人かに声を掛けられました。部活は引退しているから会えないはずなのに、そこにいてくれるだけでうれしくなりました。自分が用事で部活から早退して帰る道すがら、休日なのに制服を着ている生徒と保護者に会いました。足を止めて話していると、高校の部活体験に行ってきたと言っておられました。実力テストの結果を見て奮起してもらいたいということや、期末と実力テストに向けて頑張ろうということで、修学旅行から頭を切り替えて進路に向かって、しっかりと一歩を踏み出してきているなと感心しました。その後、修学旅行はどうだったかという話になり、家に帰るなりマシガンのように楽しかったことを話し、お風呂に入っているも扉をちょっと開けて何が楽しかったかを話してあげたいです。極めつけは、「今がお得だからGO TOで旅行に行きたい」と言い出し、「じゃあ、どこに行きたいの?」と尋ねると、「広島宮島!」と答えたようです。それほど楽しかったんですねとお礼を言っておられました。